

諏訪中 R8年度学校評価項目（職員・生徒・保護者）

学校の重点目標		職員評価	生徒評価	保護者評価
「すき」を深める 自主・個別学習 ◇ICTやデジタル教材を活用し、学び直しから発展的な内容まで一人一人のペースに合わせた「個別最適な学び」を実現する。 ◇複数教員によるチーム・ティーチング(TT)により、きめ細やかな支援を行う。	学習①	生徒が自分のペース(「ICTの活用」や「学び直し」)で学べる授業づくりを行っている	自分のペース(「ICTの活用」や「学び直し」)で学習に取り組むことができる	子どもは、自分のペース(「ICTの活用」や「学び直し」)を大切にしながら学習に取り組んでいる
	学習②	生徒が「分かった」、「できた」を実感できる支援を行っている	学びを通じて、「分かった」、「できた」と感じる場面がある	子どもは、「わかった」、「できた」という実感を大切にし、学ぶ意欲や達成感を高めている
	学習③	生徒がタブレット端末やデジタル教材を用い、自ら学習内容を調整(自己調整)できるよう支援している	タブレット等を活用して、自分に合ったレベルの学習や発展的な課題に挑戦できている	子どもは、ICTを効果的に活用したり、習熟度や興味に合わせて学んでいる
	自己決定①	生徒が自分に合った学び方や過ごし方を選べる支援を行っている	自分に合った学び方や過ごし方を選ぶことができる	子どもは、自分らしさを大切にし、穏やかに安心して過ごせている
	自己決定②	生徒が自分で選び、決めていく場面を大事にしている	自分で考え、自分で決める場面がある	子どもは、自分で選択し、決めていく力を伸ばそうとしている
	自己決定③	生徒のペースや特性に応じた支援を行っている	自分のペースを大事にしながら、学校生活を送ることができる	子どもは、自分らしさや過ごし方を大切に生活することができている
「わ」を広げる 自然・地域活動 (総合・キャリア) ◇「二貫寺の森」での体験活動や越後教育大学との連携による専門的な講座を通じ、本物に触れる探求学習を行う。 ◇地区公民館との交流など多様な年代の方との関わりで人間関係を広げる。	自立①	生徒が将来や進路について前向きに考えられる支援を行っている	自分の将来や進路について前向きに考えることができる	子どもは、自分の将来や進路を前向きに考え、希望をもっている
	自立②	生徒のよさや可能性を認め、伸ばすかわりを行っている	自分のよさや可能性を感じることができる	子どもは、学校や保護者の励ましや支援を受け、自分のよさや可能性を伸ばそうとしている
	自立③	生徒が社会の中で自分らしく生きようとする力を育んでいる	社会の中で自分らしく生きていこうとする気持ちがある	子どもは、社会の中で自分らしく生きていこうとする気持ちをもっている
	人間関係①	生徒が安心して人と関われる学級・学校づくりができている	安心して友達や先生、身近な大人と関わる事ができる	学校と家庭の連携によって、子どもは安心して友達や先生、身近な大人と関わる関係づくりを行っている
	人間関係②	生徒が自分らしく過ごせる環境づくりを意識している	無理をせず自分らしく人と過ごすことができる	学校と家庭が連携し、子どもが自分らしく人と過ごせるように、見守ることができている
	人間関係③	相手を思いやる気持ちや行動を育てる指導を行っている	相手の気持ちを考えながら行動できる	学校や家庭での働きかけを通じて、子どもは相手の気持ちを考え、思いやりをもって行動できるようになっている
「あんしん」を築く 集団・学級活動 (心理的安全) ◇全職員がワンチームで生徒を見守る「チーム担任制」を敷き、小さなサインを逃さず支える。 ◇校内のどこでも自分の落ち着く場所で学べる「学びブレイス」を整え、ありのままの自分でいられる場をつくる。	安心感①	生徒が安心して登校・生活できる環境づくりを行っている	学校に安心して通ったり、過ごしたりすることができる	学校と家庭が連携し、子どもが安心して生活できる環境づくりに努めている
	安心感②	生徒が困ったときに相談できる体制や関係づくりを行っている	困ったときや不安を感じた時に相談できる大人や場所がある	学校と家庭が連携し、子どもが困ったときや不安を感じた時に安心して相談できる環境づくりに取り組んでいる
	安心感③	生徒の思いや気持ちを受け止め、尊重するかかわりができている	自分の気持ちを否定されずに受けてもらえる	学校生活や家庭でのかかわりを通じて、子どもの気持ちや思いを受け止め、安心感につなげている